

関西興産株式会社

2024年 環境経営レポート

(対象期間：2024年1月～2024年12月)



作成日： 2025年1月27日
更新日： 2025年3月28日

環境経営方針

【環境経営理念】

関西興産株式会社では、産業廃棄物の収集運搬及び処理業としての社会的責任と強く認識し、産業廃棄物の再利用、再資源化ならびに、環境にできるだけ影響しないかたちで地球にもどす技術の向上と努力を続けてまいります。

【環境保全への行動指針】

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減
- ③ 受託産業廃棄物のリサイクル率の向上
- ④ 一般廃棄物の排出量の削減
- ⑤ 工場周辺の清掃活動を積極的に行う
- ⑥ 井戸水を利用し、中間処理施設での節水活動に取り組む

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規や当社が約束したことを順守します。

制定日： 2011年10月3日
改定日： 2022年8月29日

□ 組織の概要 □

- (1) 名称及び代表者名
 関西興産株式会社
 代表取締役社長 吉原 修藏
- (2) 所在地
 本 社 大阪府豊能郡能勢町下田115
 統括事務センター 大阪府箕面市船場東3-1-6
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 木村 (kimura@kansaikousan.co.jp)
 担当者 勝田 (katuta@kansaikousan.co.jp)
- (4) 事業内容 産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物中間処理業
- (5) 事業の規模
 法人設立 2009年6月9日
 資本金 10,000,000円
 売上高 746,637,000円

■ 概要

	本社	統括事務センター	合計
従業員	20名	9名	29名
延べ床面積	5,905㎡	72㎡	5,977㎡

本社



統括事務センター



■ 受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	68,202 m ³		
中間処理量	65,675 m ³	うち再資源化量	28,566 m ³
最終処分量	18,691 m ³		
中間処理後の産廃の処分量	47,257 m ³	うち再資源化量	28,566 m ³

収集運搬量と中間処理後の最終処分量が違うのは、収集は容量で受け、中間処理することにより、かさ密度が少なくなるため、差異が生じる

■ 車両台数

車種	台数	車種	台数
2 t 車	4	バックホー	7
3 t 車	4	ショベルローダー	1
4 t 車	3	フォークリフト	3
10 t 車・トレーラー	9		
軽ダンプ	3		
合計	34		



■ 主要設備

名称	台数	備考
破碎機	5基	13.8m ³ /日・4.0t/日
圧縮機	1基	13t/h
選別ライン	1基	230.4m ³ /日



■ 積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
なし	—	—	

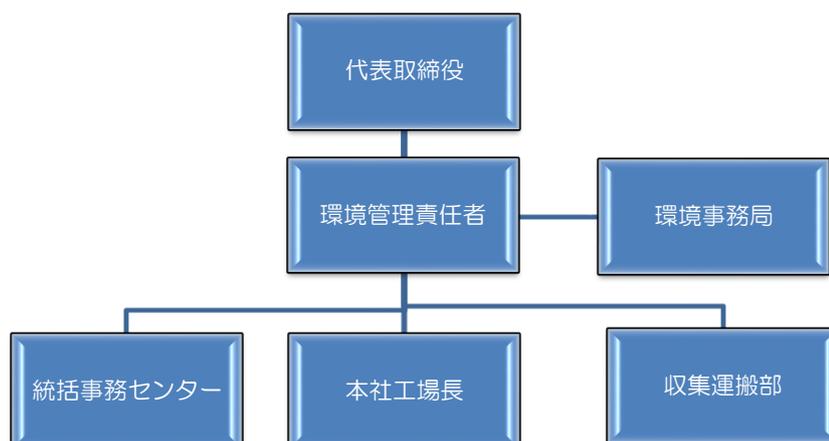
□ 認証・登録の対象組織・活動 □

登録組織名： 関西興産株式会社

対象事業所： 本社・統括事務センター

活 動： 産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物中間処理業

□ 環境経営組織図及び役割・責任・権限 □



役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営に関する統括責任 • 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 • 環境管理責任者を任命 • 環境経営方針の策定・見直し • 環境経営目標・環境経営計画書を承認 • 代表者による全体の評価と見直し、指示 • 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営システムの構築、実施、管理 • 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 • 環境経営目標・環境経営計画書を確認 • 環境活動の取組結果を代表者へ報告 • 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 環境管理責任者の補佐、の事務局 • 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 • 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 • 環境活動の実績集計 • 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 • 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 • 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 • 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> • 自部門における環境経営方針の周知 • 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 • 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 • 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 • 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 • 試行・訓練を実施、記録の作成 • 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> • 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 • 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□ 許可の内容 □

種類	発行者 許可番号	許可年月日 許可の有効年月日	産業廃棄物の種類																
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	ばいじん	
処分業	大阪府 第02720151037号	令和2年5月7日						●	●	●	●		●	●	●		●		
		令和7年5月6日																	
収集 運搬業	大阪府 第02700151037号	令和6年10月28日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和11年10月27日																	
	兵庫県 第02803151037号	令和6年11月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和11年11月16日																	
	京都府 第02600151037号	令和7年1月7日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和11年10月29日																	
	奈良県 第02900151037号	令和6年11月6日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和11年11月5日																	
	滋賀県 第02501151037号	令和6年10月9日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和11年11月4日																	
	愛知県 第02300151037号	令和4年7月6日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和9年6月17日																	
	三重県 第02400151037号	令和4年9月29日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和9年8月20日																	
	静岡県 第02201151037号	令和6年7月7日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和11年7月6日																	
	岡山県 第03300151037号	令和5年8月29日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和10年7月23日																	
	岐阜県 第02100151037号	令和6年3月5日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和11年3月4日																	
	和歌山県 第03000151037号	令和2年12月1日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和7年11月30日																	
	広島県 第03400151037号	令和2年11月13日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和7年11月12日																	
	千葉県 第01200151037号	令和6年11月11日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和11年10月27日																	
	埼玉県 第01100151037号	令和7年1月14日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和11年11月25日																	
	神奈川県 第01400151037号	令和4年12月27日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
		令和9年12月26日																	
	石川県 第01704151037号	令和7年3月4日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和12年3月3日																	

□ 廃棄物処理フロー □

分別

当社で分別いたします!!

木・金属・紙類・石膏ボード・廃畳はリサイクルへ
 その他は破碎へ



破碎



破碎後、リサイクル・圧縮梱包へ。

トロンメル/コンベア



トロンメル

搬送コンベア

圧縮梱包機



リサイクル

木

紙

金属

廃プラ

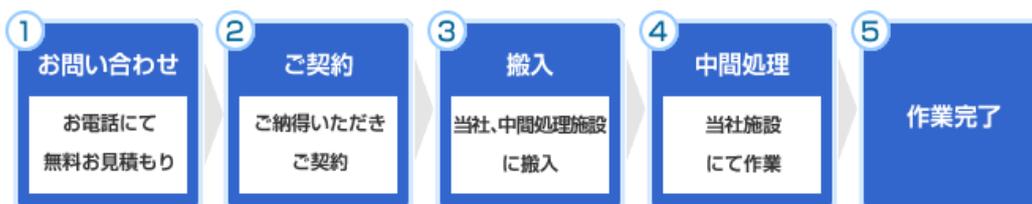
石膏
ボード

など

廃棄物は宝の山です。埋立や焼却だけでなく分別等によりリサイクル、再資源化を図っております。

最終処分

□ 処理料金 □



処理料金については、引取場所、品目等により異なりますので、
 統括事務センター（TEL：072-727-0331）までお問い合わせ下さい。

□ 主な環境負荷の実績 □

項目	単位	(基準年度)		
		2020年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,032,813	859,005	810,534
受託収集運搬量	m ³	83,111	68,603	68,202
受託中間処理量		79,115	67,111	65,675
受託最終処分量		36,731	24,513	18,691
一般廃棄物排出量	kg	408	388	384
産業廃棄物排出量	m ³	60,424	53,606	47,257

※電力の二酸化炭素排出係数 0.351 kg-CO₂/kWh 2020年度関西電力の調整後の排出係数

※水の使用量は本社工場で井戸水を使用し、統括事務センターではビル共同の使用で、
共に計測不可であるが、節水に取り組んでいる。

※化学物質の使用はありません。

□ 環境経営目標及びその実績 □

		基準値	2024年		評価	2025年	2026年
		(基準年:2020年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	41,897	40,221	49,253	×	39,802	39,383
	基準年度比	2020年	96.0%	117.6%		95.0%	94.0%
収集運搬車による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	991,036	951,394	761,281	○	941,484	931,574
	基準年度比	2020年	96.0%	76.8%		95.0%	94.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	1,032,933	991,615	810,534		981,286	970,957
一般廃棄物の削減	kg	408	392	384	○	388	384
	基準年度比	2020年	96%	94%		95%	94%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	39.2%	40.8%	60.4%	○	41.2%	41.6%
	基準年度比	2020年	104%	154%		105%	106%
節水取組	行動目標 (次頁による)						

注) 削減目標を掲げている項目は100%以下で達成、100%を超えると未達成。

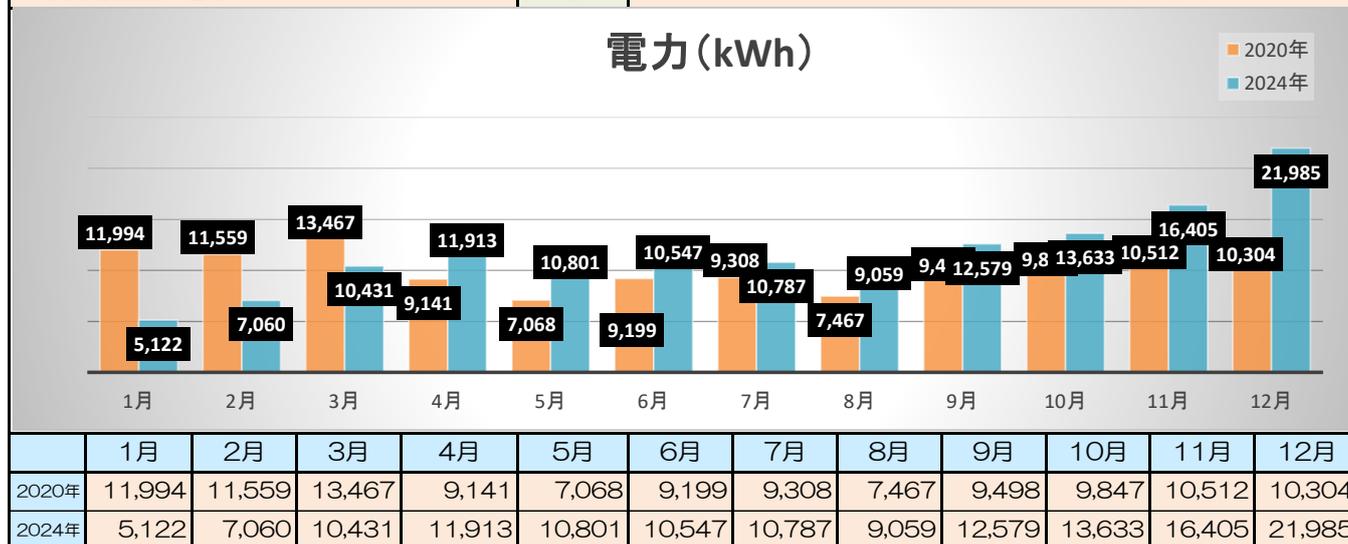
推進目標では100%以上で達成、100%未満で未達成となる。

□ 環境経営計画の取組結果とその評価 □

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	上半期から破碎機が稼働し、 下半期は3基とも6カ月フル稼働。 3基の動力のため、使用量が増加した。 次年度は基準年度を変更予定。
・空調温度の適正化	○	
・不要照明の消灯	○	
・未使用機器の電源OFF	○	



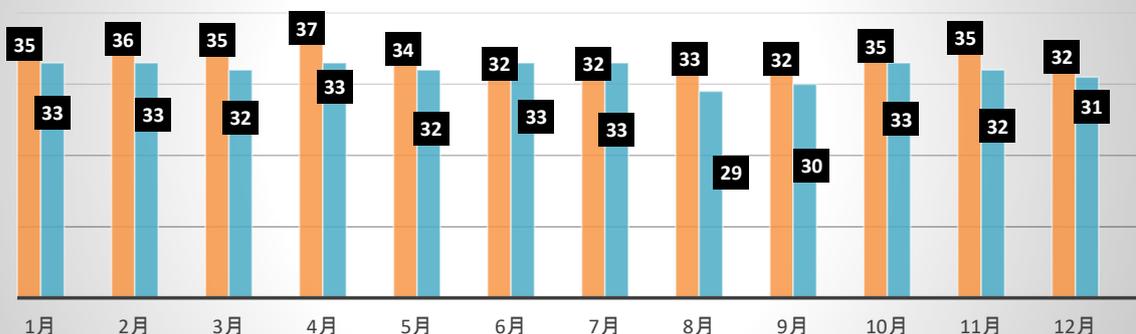
収集運搬車による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	大型車での能登半島復興支援の収集運搬に協力し、 1週間能登に行ったままなので、軽油使用量が減少した。 次年度は基準年度を変更予定。
・効率的なルートでの収集	○	
・アイドリングストップの徹底	○	
・急加速・急停車の防止	○	



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間を通し、ほぼ目標達成。 次年度は基準年度を変更予定。
・ゴミの分別の徹底	○	
・コピー機の裏紙利用	○	
・コピー機使用後のリセットの徹底	○	

一般廃棄物 (kg)

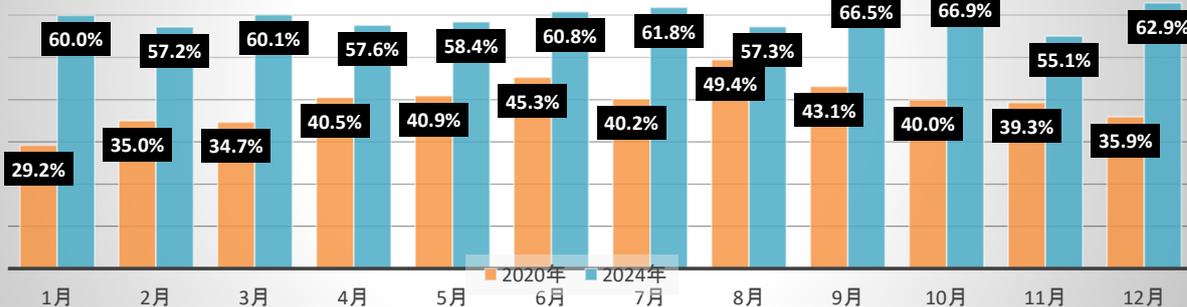
2020年 2024年



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	35	36	35	37	34	32	32	33	32	35	35	32
2024年	33	33	32	33	32	33	33	29	30	33	32	31

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	新工場が本格的に稼働し、木くず・石膏ボードのリサイクルが自社で完結できるようになったため、リサイクル率が上がった。 次年度は基準年度を変更予定。
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・選別の徹底	○	
・リサイクル先の開拓	○	

受託廃棄物のリサイクル率 (%)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	29.2%	35.0%	34.7%	40.5%	40.9%	45.3%	40.2%	49.4%	43.1%	40.0%	39.3%	35.9%
2024年	60.0%	57.2%	60.1%	57.6%	58.4%	60.8%	61.8%	57.3%	66.5%	66.9%	55.1%	62.9%

中間処理施設での節水活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・井戸水の利用		井戸水を利用し、 中間処理施設での節水活動に取り組んでいる。 次年度も引き続き活動を継続していく。

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無 □

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

法律名	遵守すべき事項	順守状況
廃棄物処理法 (水銀は対象外)	産業廃棄物マニフェストの管理	順守
	廃棄物処理契約書	
	廃棄物の適正な処理	
	保管場所の表示	
建設リサイクル法	建設廃棄物の適正な処理	順守
消防法	消火器の設置	順守
自動車リサイクル法	廃車時の指定業者への廃車依頼	順守
家電リサイクル法	家電廃棄時の適正な処理	順守
騒音規制法	破碎機等の騒音・振動防止対策	順守
振動規制法	規制基準の遵守	
道路運送車両法	収集運搬車の整備基準	順守
	収集運搬車の点検及び、整備検査	
道路法	飛散・流出防止対策の励行	順守
道路交通法	積載量及び法定速度の遵守	順守
	車両の放置禁止	
	運転免許証の確認	
	アルコールチェックの義務化	
自動車NO _x ・PM法	規制に適合した車両の使用	順守
	使用燃料の適正化	
オフロード法	特殊自動車の適正な整備	順守

■ 違反、訴訟などの有無

環境関連法規違反、訴訟等は5年間発生せず、関係行政、当局からの指摘もありませんでした。

□ 緊急事態対応訓練 □

緊急事態の想定：中間処理時・火災の発生時の緊急事態の対応	
■実施日： 2024年10月19日	■実施場所： 本社工場
■参加者： 本社工場内従業員	■実施内容： <ul style="list-style-type: none"> ・機械運転前確認、安全確認 ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
決められた手順どおりに行い、手順が適切であることが確認できた。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定：収集運搬時の緊急事態の対応	
■実施日： 2024年10月19日	■実施場所： 本社工場
■参加者： 収集運搬部	■実施内容： <ul style="list-style-type: none"> ・運転方法への配慮、計画等 ・落下事故対応、通報訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
決められた手順どおりに行い、手順が適切であることが確認できた。	
■実施状況の様子	
	

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示 □

実施日： 2025年1月24日

【前回の指示への取組結果】 大幅な目標未達成の項目はなく、このまま環境活動を継続する。	
＜情 報＞	＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） 昨年度に引き続き、環境関連法規違反、 是正が必要な問題・外部からの苦情もなかった。	◇環境経営方針 変更の必要性はなし
◇環境経営目標・計画の達成状況 概ね、目標達成できている。	◇環境経営目標・環境経営計画 次年度より基準年度を変更予定(2020年度⇒2024年度)
◇その他 環境関連法規制は更に厳しくなると思われる。 常に情報を収集し、即時対応できるようにする	◇実施体制他 変更の必要性はなし
<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 破碎機の台数が増え、処分量も増加し、電力使用量が大幅に増加しているが、破碎物の投入方法を工夫し、破碎機に負荷がかかり瞬間的な電力消費量が増加するのを防ぐように徹底し、削減に努める ■ リサイクル率のさらなる向上のため、混合廃棄物からの選別を徹底する ■ 自社でリサイクルできる廃棄物の受注量を増やす様に営業に指示する ■ 2024年度から新工場が本格的に稼働し、以前と環境も変わってきたため、次年度から基準年度を変更予定（2020年度⇒2024年度） 	

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

上

□ 編集後記 □

エコアクション21認証・登録より約13年が経ちました。
 その間に環境活動に対する意識もだいぶ向上しました。
 これからはリサイクルの時代だと痛感します。
 また新たな気持ちで環境活動に取り組みたいと思います。



関西興産株式会社 SDGs達成に向けての取組

関西興産株式会社はEA21の活動を通じて、SDGs達成の活動にも取り組んでいきます。

1. 電力の消費に伴う二酸化炭素の排出量の削減



2. 収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減



3. 受託産業廃棄物のリサイクル率の向上



4. 一般廃棄物の排出量の削減



5. 事務用品のグリーン購入



6. 工場周辺の清掃活動を積極的に行う



7. 雨水を再利用し、中間処理施設での粉塵を抑えるための散水を積極的に行う

